
真夜中の雨

geinguns

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

真夜中の雨

【ZPDF】

20177D

【作者名】

あらすじ

【あらすじ】
夜中に子供がうろうついてたんで心配になつた話……！

俺たち不良夫婦は
昨日夜中の1時頃突然思い立ちカラオケに行くことにした。

子供たちが寝ている間にちょっとだけ遊びに行こう。

音を立てないようそーっと家を出た。

すると誰かが歩いてる、 、 、 、 ああ向かいの人かな、 、 あれ？

こんな時間に（夜1時）に子供が道を歩いていた、 、 。

俺の奥さんが「あれ向かいの～ちゃんだよー」

といつてあとを追いかけ始めた。

やつぱり向かいの子だった。

訳を聞いてみると怒られて追い出されたらしい。
よくあるパターンだ。しかし普通の子はついつい入れて一いつて泣くと
ころだが
この子はじつと外にいてたらしい。

よく見ると裏口に鍵がかかっていない。

ここから入ってきなさいっていうメッセージだとは思つるのだが
その子は怒られるからってかたくなに家に入ろうとしない。

家の鍵もあいてることだし、

そこから家に入りなさいと言い残して俺たちはカラオケに行つた。

カラオケでは1時間ほどイーモンとかドリカムとかミスチルとか熱唱した。

外に出ると暗い雨が降り出していた。

家の前まで帰つてきた。もう帰つたかなあ、 、 、 また怒られてなきやいいけど、 、 、

えーまだこらやんーまだ家の前にこらやんー

夜中の3時、JUNの子供がたたずんでる姿はさすがに不憫だった。

家の人に電話するかちょっと悩んだが
時間も時間だしうつに泊めることにした。

遠慮しながらに家に入ってきたその子は
伏し目がちに俺のギターをずっと眺めていた。
布団を敷くとすぐに寝たらしい。

朝家に帰るとまた怒られていたらしい。
悪いことしちゃったかなあ、 、 、 、

俺はあの子が伏し目がちにギターを見つめる視線が忘れられなかつ
た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0177d/>

真夜中の雨

2010年12月2日03時10分発行